

(公財) 平和堂財団 次世代育成セミナー

びわ湖ミュージックハーベスト2021

室内楽セミナー 受講生募集

音楽を深く知り、互いの音を聴き合い、アンサンブルする楽しさを体験しよう

日程 2021年 7月22日(木)～25日(日) **全4日間**

会場 **滋賀県立文化産業交流会館** 滋賀県米原市下多良二丁目 137
(JR 琵琶湖線米原駅西口より徒歩7分)

募集パート **ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・ピアノ 各若干名**
応募資格 滋賀県および近隣府県在住・在学の小学5年生から高校3年生で、専門的に楽器を勉強している方で全日程に参加できる方。
(応募者多数の場合は、書類および録画映像による審査を行います。) ※累計の受講可能回数は2019年度開催回以降、3回までとします。

講師
ヴァイオリン 玉井菜採 (東京藝術大学音楽楽部教授)
ヴィオラ 安藤裕子 (東京藝術大学フィルハーモニア管弦楽団首席奏者)
チェロ 河野文昭 (東京藝術大学音楽学部教授)
ピアノ 野田清隆 (東京学芸大学准教授)

受講料：無料 (但し、交通費・宿泊費・飲食費・資料代等は自費負担となります)

申込方法

文化産業交流会館ホームページ専用応募フォームまたはEメールか郵送にて必要事項を記載しお送りください。

申込記載内容

- 住所 ○氏名 ○年齢 ○電話番号 (携帯番号等必ず連絡の取れる番号)
- メールアドレス (@biwako-arts.or.jp より受信可能として下さい。)
- 学校名及び学年・年齢 ○楽器パート ○師事者名
- 室内楽およびアンサンブルの経験 ○学習したことがある室内楽曲名 ※現在師事している先生の了解を得てお申し込みください。

審査用として2020年4月以降に収録された映像を提出してください。曲目は自由です。

- Youtubeに限定公開で投稿し、リンクを応募フォームまたはメールで送付
- MP4などの動画データをメールで送付
- DVDを郵送で送付



専用応募
フォーム

申込期間 2021年4月17日(土)～5月16日(日) 17:00

申込・問合せ先 滋賀県立文化産業交流会館

5月中に参加の可否をお知らせいたします

URL <https://www.s-bunsan.jp/>

E-mail biwako-harvest@biwako-arts.or.jp (当セミナー専用アドレス)

521-0016 滋賀県米原市下多良二丁目 137 TEL 0749-52-5111 ※月曜休館 (但し、月曜日が祝日の場合は翌日以降の営業日)

主催：公益財団法人 **平和堂財団**

共催 / 制作協力：公益財団法人びわ湖芸術文化財団

後援：公益財団法人日本室内楽振興財団

(公財) 平和堂財団 次世代育成セミナー

びわ湖ミュージックハーベスト2021 室内楽セミナー

“びわ湖ミュージックハーベスト”は、音楽家を志す若い人が、湖国滋賀で、アンサンブルを通じて音楽への理解を深め、共に演奏する素晴らしさを体験するセミナー+演奏会です。受講生の、その後の飛躍に期待し、地域の皆さんにもアンサンブルの魅力を知っていただくことも目的としています。

「室内楽セミナー」では、弦楽器、ピアノの受講生が、受講生同士または受講生と講師を交えた編成で、7月22日～24日の3日間リハーサルを重ね、25日に演奏会を開催します。作曲家が、ときに最も親密な感情を記したともいわれる室内楽作品。そのなかで、奏者ひとりひとりが自らの内側から湧き上がるものを発信し、互いを聴き、生かし合う極意や、共に弾く喜びを発見する4日間です。

講師プロフィール



玉井菜採 ヴァイオリン

京都生まれ。桐朋学園大学在学中に、プラハの春国際コンクールヴァイオリン部門に優勝。東儀祐二、小國英樹、久保田良作、立田あづさ、和波孝禎らの諸氏に師事。大学卒業後に渡欧、アムステルダム・スヴェーリンク音楽院でH.クレバース氏、ミュンヘン音楽大学マイスタークラスにてA.チュマチェンコ氏に師事。この間、J.S.バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに入賞している。滋賀県文化奨励賞、平和堂財団音楽奨励賞、文化庁芸術祭新人賞、京都府文化賞奨励賞などを受賞。ソリストとして国内外のオーケストラと共演を重ね、リサイタル、室内楽の分野でも活発な演奏活動を展開している。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、東京クライスアンサンブルメンバー、アンサンブルofトウキョウ ソロヴァイオリニスト。東京藝術大学音楽学部教授。使用楽器は藝大所蔵のStradivarius “Ex-Park”(1717)。



安藤裕子 ヴィオラ

東京芸術大学、大学院修了。学内にて安宅賞受賞。卒業時、読売新人演奏会に出演。第3回日本室内楽コンクール第1位。第52回ジュネーブ国際コンクールセミアイナリスト。第17回ヴィットリオ・ガイ国際室内楽コンクールデュオ部門最高位。これまでにソリストとして、新日本フィル、東京フィル、ロイヤルアカデミー・オーケストラと共演。元東京シティフィル首席奏者。現在、紀尾井ホール室内管弦楽団 在籍。芸大フィルハーモニア首席奏者。ヴィオラを、菅沼準二、セルジュ・コロ氏に師事。東京芸術大学、洗足学園、聖徳学園非常勤講師。



河野文昭 チェロ

京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研究員としてロスアンゼルスで、その後ウーロン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G・ライター、A・ナヴァラの各氏に師事。1984年帰国後、独奏者として各地でリサイタル、オーケストラとの共演を重ねる他、アンサンブルofトウキョウ、紀尾井ホール室内管弦楽団、静岡音楽館(AOI)レジデントカルテット、東京クライスアンサンブルなどのメンバーとして、室内楽の分野でも、国内外に幅広く精力的な演奏活動を行っている。81年第50回日本音楽コンクールチェロ部門第一位、90年京都音楽賞、92年大阪府文化祭賞、2004年京都府文化賞功労賞等を受賞。17年京都市文化功労者。現在、東京芸術大学教授。



野田清隆 ピアノ

ブラームスと20世紀作品を組み合わせた一連のリサイタルにより東京芸術大学で博士号を取得。第64回日本音楽コンクール第1位および各賞を受賞。室内楽における内外の名手との共演はもとより、指揮者からも信頼を寄せられ、下野竜也、広上淳一、尾高忠明をはじめ、S.カンブルラン、高関健、山下一史、川瀬賢太郎といった指揮者のもと読売日本交響楽団、日本フィル、東京交響楽団、東京シティフィル、藝大フィル、札幌交響楽団、名古屋フィル、京都市交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団などと共演。一方、現代音楽の領域でも活動しており、尾高忠明《ピアノ協奏曲》の初演やブーレーズ《シュル・アンシース》日本初演に携わる。ゆふいん音楽祭、アフィニス音楽祭などの音楽祭に出演するほか、2017年にはアッセンブリッジ名古屋フェスティバルで愛知室内オーケストラを弾き振りした。CD録音も多数。藝大ピアノ科・室内楽科講師を経て、現在は東京学芸大学准教授、ならびに東京音楽大学指揮科特別アドバイザー。トリオ・エドアルテ、東京クライス・アンサンブルのメンバー。

この事業は (公財) 平和堂財団が次世代アーティスト育成のために行う事業です。